

CAFE BALCONY CAFE

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

# カフェ・バルコニーの家

通信

平成 25 年 9 月号 (第 40 号)

「カフェ・バルコニーの家通信」  
平成 25 年 9 月号をお届けします。  
夏祭りも終わり、秋の訪れを待つこの時期  
残暑厳しい日々が続きますが、体調を整え  
ていきましょう。



撮影者：高橋秀明



## 「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



### 7月の誕生日会を祝いました。

7月の誕生日会を祝いました。誕生日の方に感想を聞きました。

○カフェの皆さん、先月 7 月 27 日に盛大に誕生会を、開いてくださり、有難う御座いました！！ 私は、7 月 12 日に、満 40 歳を迎えました。

一昨年、介護福祉士国家試験に合格し、翌年の 1 月から、ハローワークの紹介で、カフェ・バルコニーの家で、気力と、誰とでも、円滑にコミュニケーションが出来ることを、目的として、訓練を始め、そして、今年の 1 月に、藪下敦子理事長より、「デイ・サービス真砂」を紹介して頂き介護福祉士としてのスタートを切りました。

やはり、同じ境遇を体験した、仲間に祝ってもらうことは、この上ない喜びです。終わりに、代表の、藪下御夫妻、石川さん、田村さんに、心より、感謝申し上げます。

M・H



## 東京タワーと江戸博物館に行ってきました

8/1 にバス旅行に行きました。参加した方々にコメントをお願いしました。

### ○バス旅行に行って

8/1 に東京タワーと江戸博物館の方へバス旅行に行ってきました。

東京タワーは景色がすばらしく、車がミニカーのように見えました。Kちゃんと 2 人でカレーを食べたのです。そのカレーがまたとてもおいしかったです。欲を言うならもう少し野菜が入っていたらよかったです。

江戸東京博物館はとてもすばしかったです。江戸の情緒あふれる風情や歴史が見受けられました。むつかしくて説明が分からない所もありましたが、昔のことが少し分かった気がしました。また皆で行けたらいいなと思いました。

とても楽しい旅行でした。

### ○東京タワーに行きました。

久しぶりの東京タワーへの立ち寄りになりました。前回の訪問から 10 年は経っているでしょうか？なかなか行く機会が少ないです。

東京タワーに来て必ずするのが、地上から頂上にむけて見上げることです。東京タワーが雄大に見えて頼もしく感じます。

もう一つが展望台で真下をガラス越しに見下ろすことです。ガラスが私にはどうも割れそうに感じられ、下を見るのと同時に壊れやしないかという恐怖感が伝わってきます。

東京タワーからの景色は多少の変化はありましたが、雄大であるという点で昔と変わってなくてよかったです。

T.I.

### ○八月一日、太陽号バスツアーにて東京タワーと江戸博物館に行きました。

私としては ALWAYS 3 丁目の夕陽シリーズが大好きなので東京タワーには思い入れがあります。27 年振りに東京タワーに登ったのですが自分は高所恐怖症なので足がガクガクしましたが、東京タワーから見えるお台場や六本木ヒルズなど絶景でした。

東京タワーのろう人形展も入りました。マダムタッソーの人形のリアルさにはすごく感激しました。

その後江戸博物館へ。まるで江戸時代にタイムスリップしたかのように江戸の暮らしが再現され

ていてとても感激しました。歴史好きの自分にとってはたまらなかつたです。友人には歴史のうんちくなど語って苦い顔されましたが、とても充実した日でした。

高橋綾



## 地域の茶の間の夏休み

8月11-15日の間、地域の茶の間は夏休みになりました。その期間の感想をスタッフ、メンバーから集めてみました。

### ○3日間の夏休み

スタッフの大谷です。大学院での研究も慌ただしく、当初5日間だった夏休みが3日間になってしまい、少し損をしてしまった気分です。それでもこの3日間は生まれ故郷の千葉県いすみ市に帰省して、幼馴染の友達と海やお祭りに行ったり、バーベキューをしたりして短い夏休みを満喫することができました。天候にも恵まれ、たくさんの思い出ができました。みなさんはどんな夏休みを過ごしましたか？話を聞かせてください。

大谷広司

### ○夏休み

5日間あった夏休み。1日だけ炎天下の中、畑で農作業した日がある。

畑に行く前にいつものコンビニで凍ったペットボトルを買いに行ったが、その日は置いてなかったので仕方なく普通の冷たいお茶を買った。車で30分ちよつと、犢橋にある畑に着いた。まず野菜の収穫。トマトやミニトマト、なす、ピーマン、きゅうりなどの夏野菜を取っていく。

次に雑草取りに取りかかった。しばらくおろそかにしてたら根のはった雑草でいっぱいになっていた。雑草をぬく作業はそんなに嫌いじゃない自分でも、さすがにこたえた。暑さも雑草の量も半端じゃなかった。いくら引き抜いても減らなかった。

買ったお茶もホットになっていた。それを飲んで休憩しながら作業を続けた。

その日、千葉県では熱中症で10数名が倒れたというニュースを聞いた。まだまだ暑いので熱中症には皆さん、くれぐれも気をつけてください。

K. T.

○お盆のある一日に、私は学生時代の友人と銚子へドライブに行きました。一年ぶりに会う私たちは近況を報告しあいました。

友人は新しく出来た子供の泣き声がうるさくて参っていることなどを話し、私はバルコニーでのフットサルの活動などについて話しました。久しぶりにあっても、会話がはずむというのが、古い友人のいいところです。

そうこうしているうちに、銚子へ到着。ネットで厳選した食堂に向かうことにしました。店の前には長い列が並んでいましたが、幸いにも、そんなに待たずに入れました。銚子へ来たから海産物ということで、ウニ、マグロ、イカ、ハマチなどが載った五色丼を選択。量もあって安くて美味しかったです。

その後、犬吠埼の灯台へ向かいました。この日はお盆の時期にしては、それほど暑くなく、海岸付近を散歩しました。海にはヨットやら小船が浮かんでおり、遠くには屏風ヶ浦が見えました。

銚子には三時間ほど滞在したでしょうか。あまり、長居せずに帰途につきました。私を自宅まで送り届けた友人は、また来年行こうと約束し帰っていきました。久しぶりに旧友と過ごせた一日に満足した私は、明日からの日々をしっかりと過ごしていこうと誓いました。

S.S.



## 真砂のお祭り と 磯辺のお祭り

8月17、18日に真砂のお祭りが、24、25日に磯辺でのお祭りがありました。

○8月18日に真砂の夏祭りに初めて参加しました。バルコニーでは食べ物を、茶の間ではアクセサリを同じ店舗で販売しました。

初めて販売の仕事をして、最初はお客さんが来ない焦りがありましたが笑顔で楽しそうにしていると、最初は遠巻きから見ている方も段々店舗に近づいてきて何を買おうかと値踏みしてくる方が増えメンバーからも笑顔が見えるようになりました。

売る側になって気が付いたのですが、商売として成立するのも大事だけれど、楽しく販売するのもとても大事なことなんだと感じました。

M.K.

○夏まつりに参加して

夏まつりにお手伝いで販売にかかわらせてもらって嬉しかったです。



皆さんの作品が売れた時は感激しました。  
良い思い出になりました。ありがとうございました。

I.T.

#### ○夏祭り

真砂、磯辺の夏祭りにそれぞれ参加しました。まず真砂の夏祭りですが、プログラムなどの情報により、サンバがあるという話を聞き、期待して祭りに臨みました。祭りは本格的で、我々の店以外の出店は皆プロだと聞き、うまく売れるのだろうかと心配になりました。実際、日が暮れる前はあまり売れませんでした。しかし、夜が更けていくにつれ、お客さんが増えていき、キュウリの一本漬けやから揚げ、枝豆などを中心に売れていきました。地活のメンバーが作ったビーズや小物なども売れて、それらを作ったメンバーは喜んでいました。やはり、自分が作ったものが売れるというのは嬉しいようです。

一週間後、磯辺で夏祭りがありました。こちらは、売り子としてではなく、キュウリの一本漬けや葛切りなどの売り物を作る側として参加しました。商品を作るのに意外に手がかかっているなあと感じました。磯辺の夏祭りは、真砂と違って、手作り感があふれた祭りでした。磯辺高校と千葉西高校のブラスバンドが、サザンやラ・バンバなどの楽曲を演奏して、祭りを彩りました。どちらの祭りもなんとか天候に恵まれてよかったです。

S.S.

#### ○磯辺の夏祭り

町内でパトロールをして顔なじみになった人と声を掛け合うことができました。リヤカーを使用した。便利で懐かしかった。カフェ・バルコニーの家より一層地域に溶け込むようになればよいと思った。無縁社会と言われているが、まだまだ磯辺は地域のコミュニティがある。翌日は町内会の人と後片付けしておつかれさまと言いながらあいさつをかわし、気持ちよかった。

K.Y.

#### ○テント張りの思い出

朝、日が昇り暑くなりつつある頃、茶の間のメンバー3人とスタッフ1人はテントの設営を手伝いました。去年も設営を担当したメンバーもいて1年ぶりの仕事に精を出しました。また地域の方々の指導の下でテント張りをしましたが、指導も丁寧であったため重いテントを立てたり下したりするときでも怪我なくできたと思います。今回は計4つのテントを張りました。終わったころ皆かなり汗をかいていて、その時配られた水が恵みの水のように感じられとてもありがたかったです。自分もこの祭りに参加できて協力できたのでとてもやりがいがありました。

高橋秀明





## カフェ・バルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家では、平成 25 年 4 月より、毎月第 3 土曜日 13:30~15:30、特定非営利活動法人 PAC ガーディアンズ理事 社会福祉士 小川裕二氏を講師に迎え、『高齢化する家族が、これから考えておくこと(仮題)』として、「元気回復勉強会」を開催しています。

次回は 9 月 21 日(土)の予定です。参加費用は無料です。

お問い合わせ・出席申し込みは、事務局(石川・田村)まで

○電話 043(441)3193 090-8462-7460

2. カフェバルコニーの家では NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる平成 25 年度賛助会員を募っています。入会金 2,000 円 年会費 3,000 円(1 口)です。賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。

3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。

年会費は 1,000 円からです。(郵便振替 郵便振替 00180-2-322417 NPO 法人カフェ・バルコニーの家) 振込用紙は各郵便局にあります。又は「カフェ・バルコニーの家」にご持参いただいても結構です。

4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。

(体験料 1 日 200 円)

5. 当会で 2 年間調理、接客訓練を受けた方は、国家資格・調理師試験の受験資格が得られます。

(調理実習が免除されます)

6. ボランティアさんを募集しています。

レストラン調理(補助)・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、気軽に体験してみてください。

(問合せは 043-377-3502 簀下、043-441-3193 石川・田村まで)



<カフェ・バルコニーの家 通信 第 39 号 8 月号>

- 発行場所 : NPO 法人カフェ・バルコニーの家  
千葉市美浜区磯辺 3-5-7  
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 簀下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- E-mail : [cafe-balcony.mihama@cnc.jp](mailto:cafe-balcony.mihama@cnc.jp)

